

資料 - 2 : これまでの波浪・流況観測結果と高波浪の影響について

図-2.1 に、施工後に実施した4回の波浪・流況観測結果のうち、高波浪を観測した期間の時系列データを示す。春季の季節風による高波浪はH19年3月に観測され、台風による高波浪はH19年9月に台風9号が観測された。春季の季節風による外力としては有義波高  $H_{1/3}=0.8\text{m}$  程度、台風による外力としては有義波高  $H_{1/3}=1.0\text{m}$  程度が把握された。

これら、高波浪前後の海底断面の変化と粒度組成の変化を図-2.2 及び図-2.3 に示す。

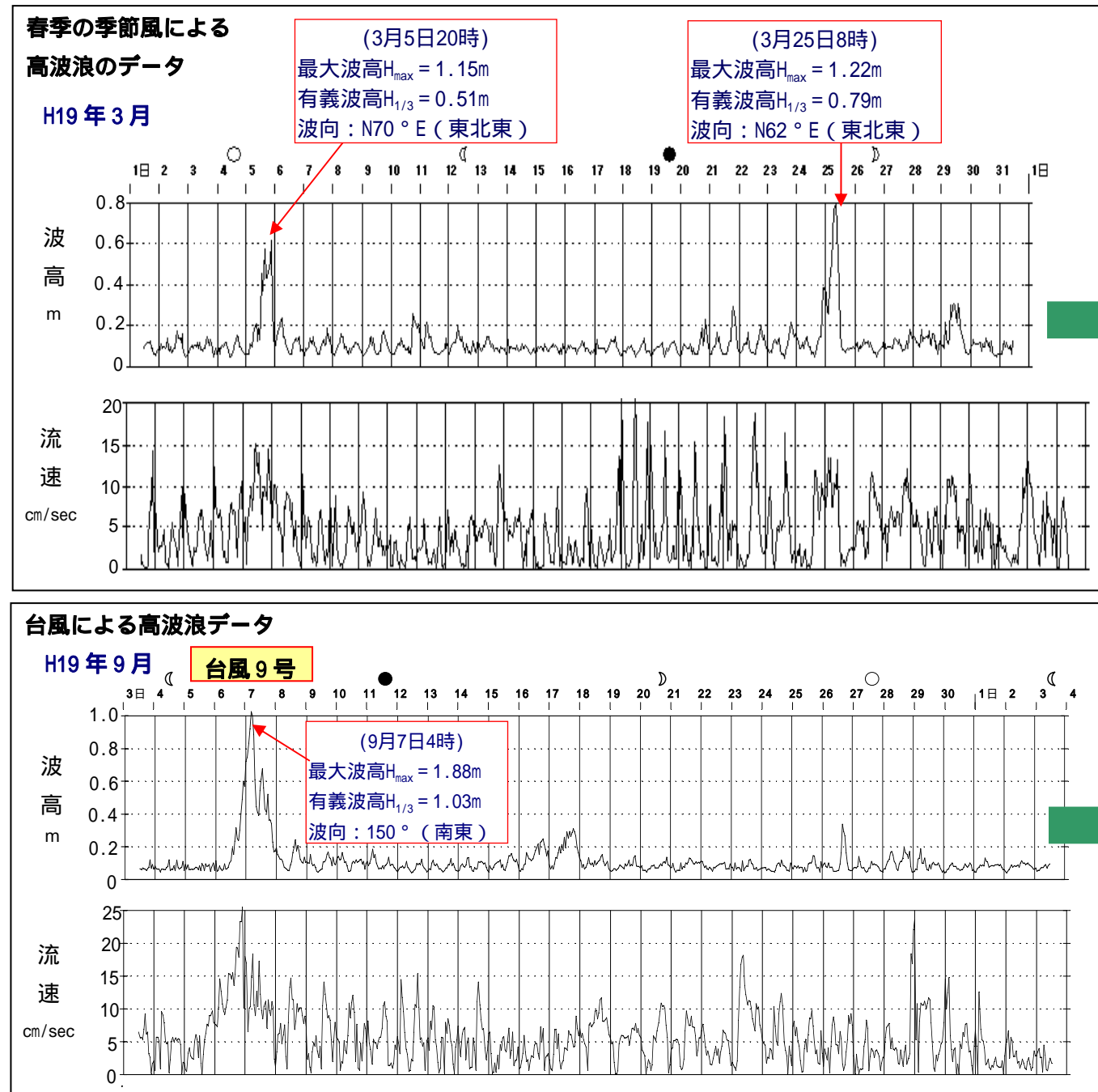
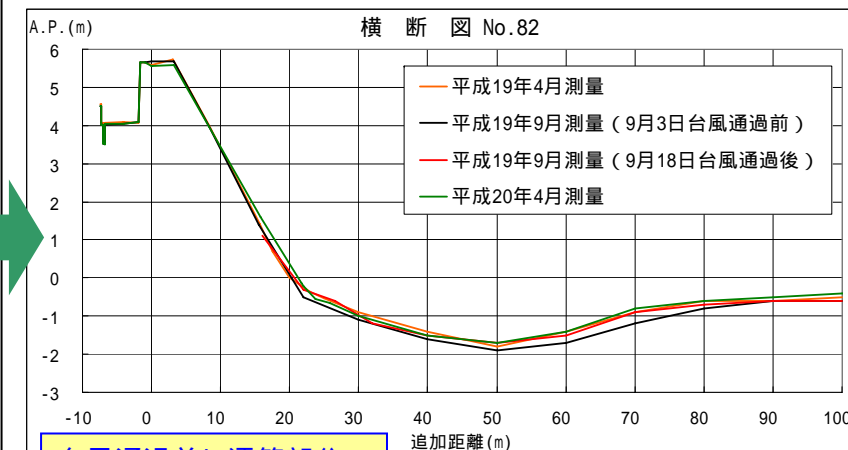
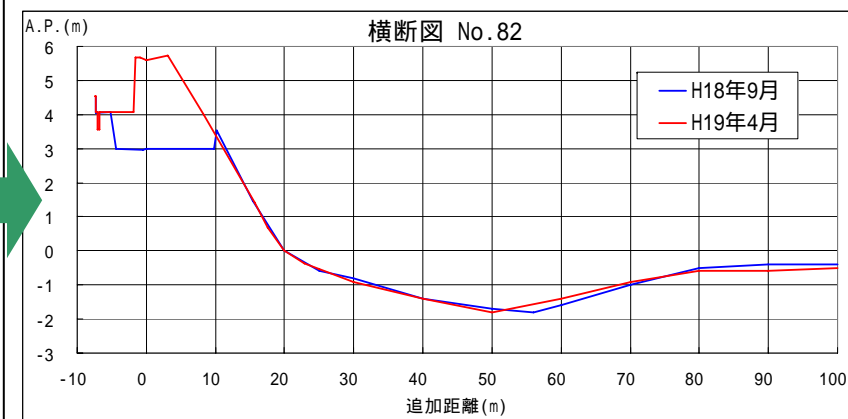


図-2.1 これまで観測された主な高波浪(波高・流速の経時変化)



台風通過前に滞筋部分の地盤が低下したが、台風通過後に元の地盤高まで回復し、その後ほとんど変化がない。

図-2.2 高波浪前後の海底断面の変化(1 工区完成形 No.82)

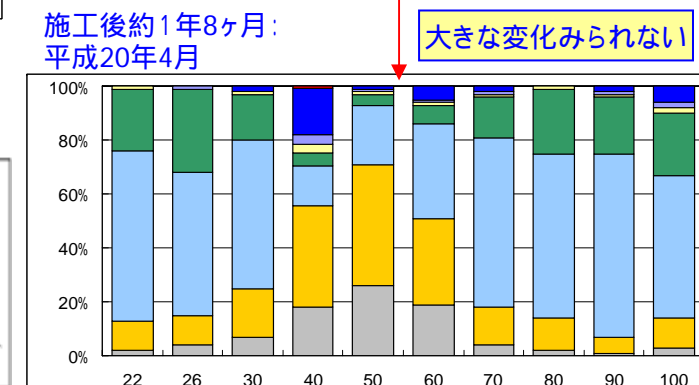
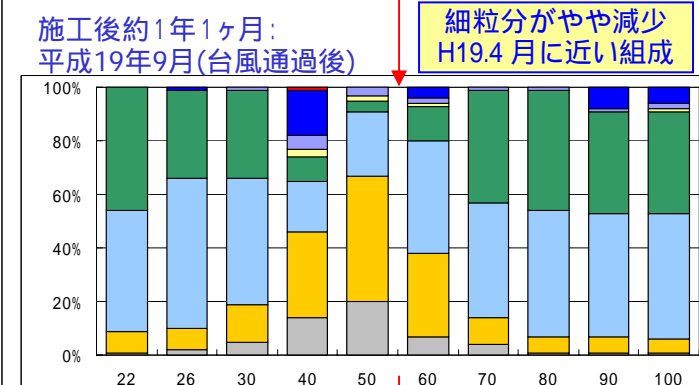
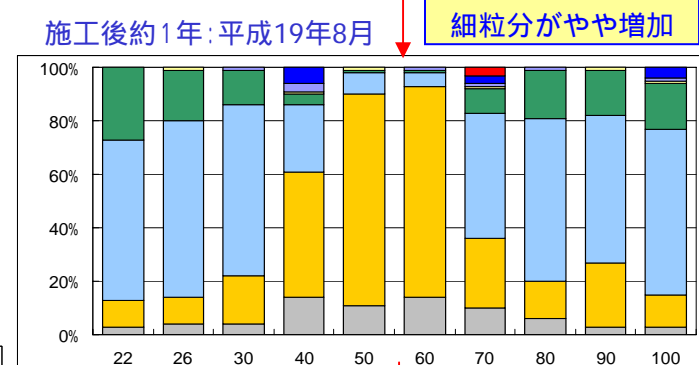
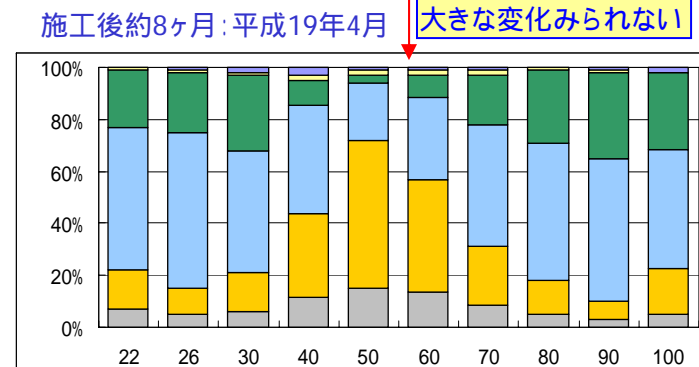
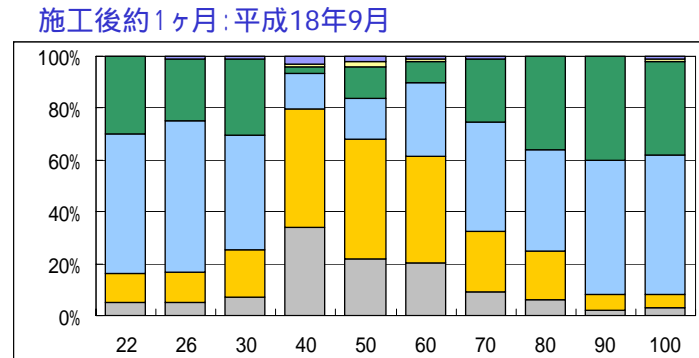


図-2.3 高波浪前後の粒度組成の変化(1 工区完成形 No.82)

また、表-2.1、表-2.2及び図-2.4及び図-2.5は観測期間中の波高、流速の平均値及び波向き、流向の頻度分布を示しているが、これまでの観測期間中の波高、波向き、流速、流向は、いずれも同様の傾向がみられた。

表-2.1 観測期間中の波高平均値(有義波)

調査時期		波高(m)	周期(sec)
施工前	H18年3月	0.09	2.7
施工直後	H18年9月	0.08	2.6
施工後約8ヶ月	H19年3月	0.08	3.3
施工後約1年	H19年9月	0.11	2.6
施工後約1年8ヶ月	H20年3月	0.09	2.6

表-2.2 観測期間中の平均流速値

調査時期		観測期間中の平均流速(cm/sec)
施工前	H18年3月	3.6
施工直後	H18年9月	4.6
施工後約8ヶ月	H19年3月	4.5
施工後約1年	H19年9月	5.6
施工後約1年8ヶ月	H20年3月	3.9

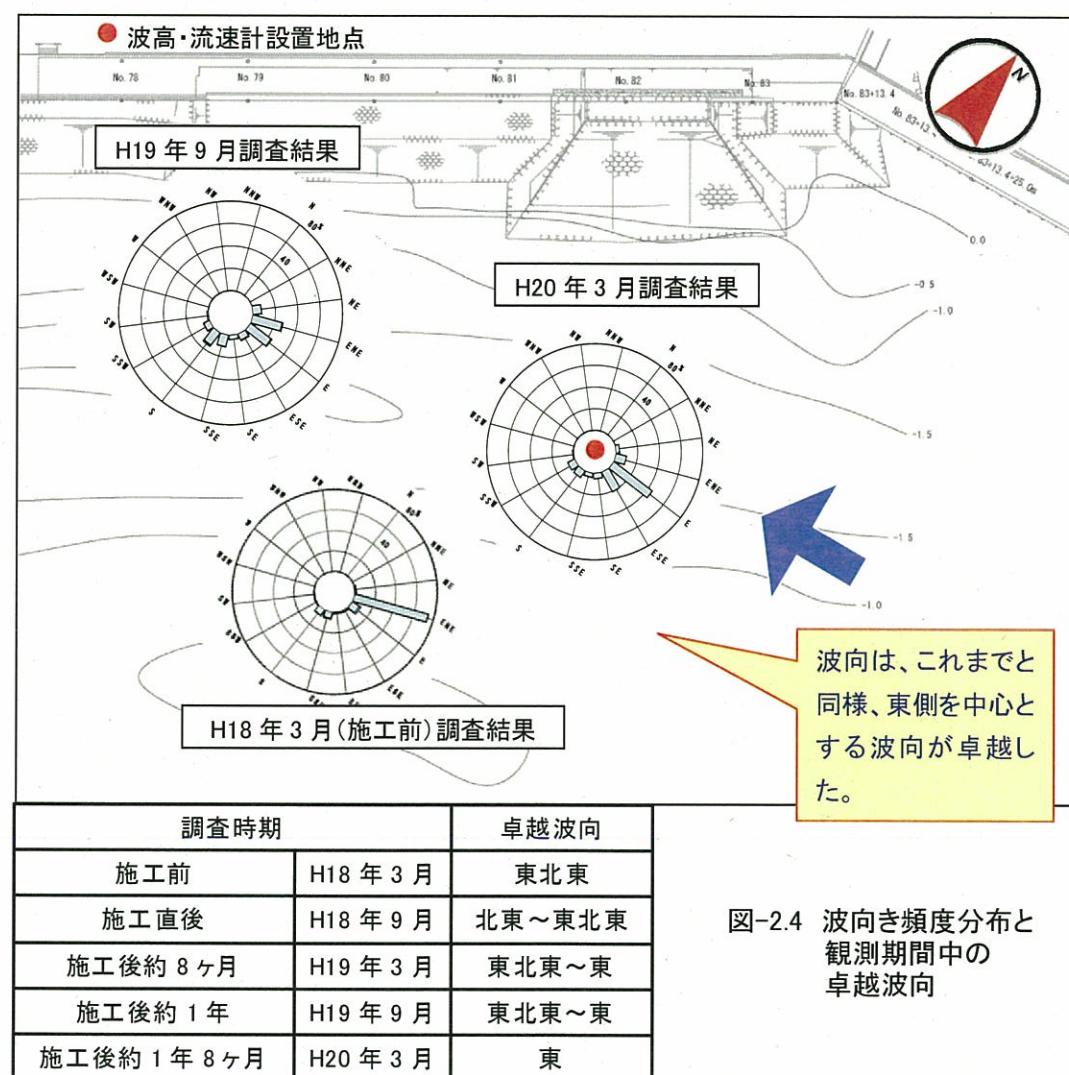


図-2.4 波向き頻度分布と観測期間中の卓越波向

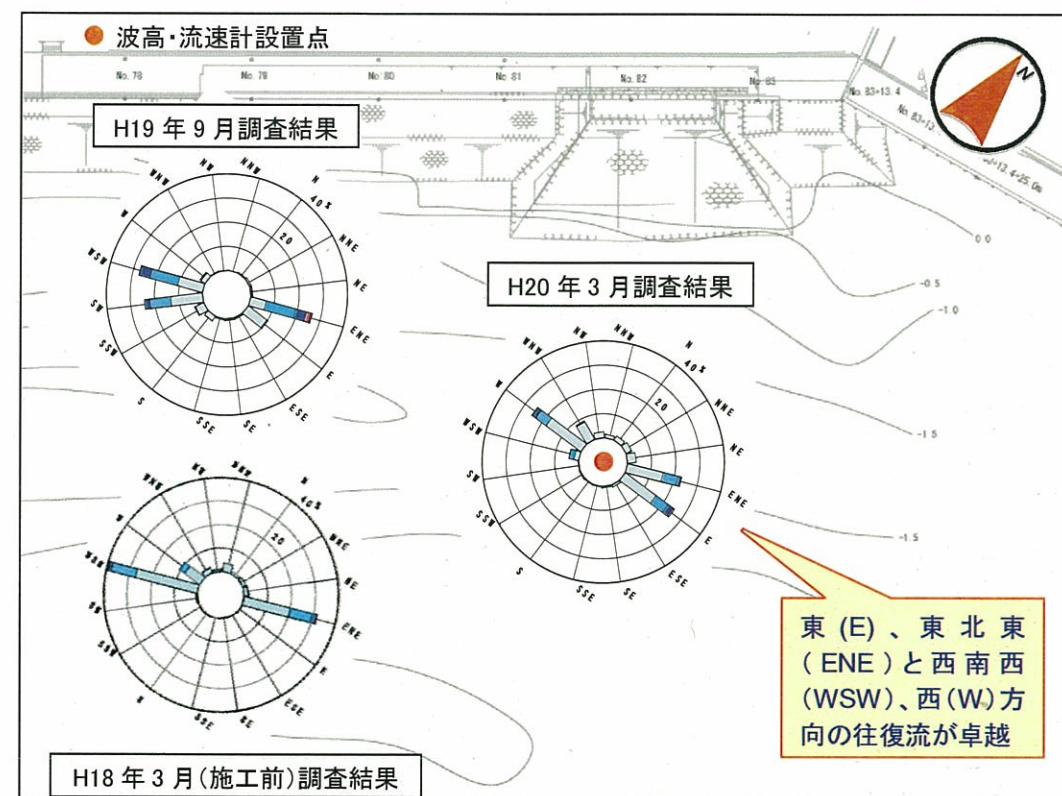


図-2.5 流向頻度分布と観測期間中の卓越流向

これまでの観測期間中の波高、波向き、流速、流向は、いずれも同様の傾向がみられた。